

教育民生委員会 会議録

日 時 令和8年7月16日（木曜日） 午前9時56分～午前11時02分
場 所 白杵庁舎2階 第3委員会室

出席委員の氏名

委員長 安東 鉄男	副委員長 平川 幸司	委員 宗 和義
委員 甲斐 尊	委員 梅田 徳男	委員 戸匹 映二

欠席委員の氏名

（ な し ）

説明のため出席した者の職氏名

（ な し ）

出席した事務局職員の職氏名

書記 工藤 真里子

傍聴者

（ な し ）

会議に付した事件及び審査結果

・行政視察先について

午前9時56分 開議

1.行政視察について

○委員長（安東鉄男）

ただ今から教育民生委員会を開催いたします。

行政視察先と日程について具体的に決めたいと思います。まず、視察先について協議を行いたいと思います。長野県は、日程が合えば視察をするかどうか、長野県庁を視察先にする場合は、近隣自治体について有償ボランティアも含めて資料を共有して検討したいと思います。

長野県に行かない場合は、九州管内で検討したいと思います。事務局から説明をお願いします。

◎書記（工藤真里子）

（資料に基づき説明）

○委員長（安東鉄男）

長野県庁は日程が合えば視察の受け入れが可能とのこと。長野県庁を候補に長野方面に行くか、別の行先で検討するか、どうでしょうか。

○委員（意見）

・長野県にこだわるつもりはなく、フリースクールの認証制度について、自治体からの財政支援や体制支援をする一つの根拠を制度として作っている。その制度のかたち、制度設計について勉強したいと思っているので、長野県以外でも勉強できる場所があれば、長野県でなくてもよい。

・今後、白杵市がフリースクールを受け入れて支援等をしていこうと思った時に、一定の基準が設けられると思う。そこを事前に勉強しておいて、制度設計について提案も出来ればよいのではないかと考えて、長野県を提案したが、長野県でなくてもよい。

・白杵市は小規模特認校があり、先進的な取組だと思う。また、「きずな」もあり、フリースクールの関心がどれくらいあるのかと考える部分もある。

・有償ボランティアについては、今秋から環境課が分別等も含めゴミ出しの問題についてヒアリングを行う予定のようだ。戸別収集の問題が地域から出ると思う。先んじて有償のゴミ出しを切り口にして、有償ボランティアも時機を得た取組であると考えて。

・フリースクールは、白杵市の取組とどこまでマッチするのかというのが、難しい課題もあると思う。フリースクールに限らず、不登校の問題として視察は重要であると思う。フリースクールに絞らず、不登校の支援の一環にフリースクールがあるので、大きな枠組みで考えても。

・兵庫県の自治体に、市がフリースクールの認定をして実際に補助を出しているところがある。具体的に支援を行っている所があれば、そこが良いと思う。

・有償ボランティアは取り組む必要がある課題だと思う。有償ボランティアについてしっかり視察したい。

・有償ボランティアの仕組みについて、振興協議会が行っている地域がある。草刈り、家具の移動、電球の交換など行っている。唯一除いたものがゴミ出しである。ゴミ出しを入れるとボランティアの仕事量が多くなってしまい、それほどゴミ出しには苦労している。

今は、それぞれ地区の班の中で対応することになり、班内で解決してもらっている。当初に比べて草刈りや家具の移動の支援などは少なくなり、先月は支援の実績がなかった。

「安心して暮らし続ける」というのは、有償ボランティアの取組なのか、そうではないのではないかなと思う。実際の困りを探って、本当に困っていることに焦点を当ててそこから考えないといけないのではないかな。

・ゴミ出し支援について、近所の方に声掛けして代わりに出すことがある。

・不登校、子どもの居場所づくりについては、これからの白杵市が向かうであろう方向に合っ

たところに行けたらよい。

- ・九州管内でフリースクールの取組、有償ボランティアについて視察できればよい。
- ・九州管内で視察できる場所があればよい。
- ・ゴミ出し支援は安否確認も兼ねており、福祉的な施策だと考える。
- ・自治会が中に入らないとできないと考える。
- ・近所の人がついでにゴミ出しをすることが根付いている地域もあるが、難しい地域もある。
お金を出しても良いという人もいるので、いろんな選択肢があるとよい。
- ・独居高齢者、高齢世帯が多くなっていく。若い世代は仕事のために早く家を出たり、隣近所が物理的に遠いなどの問題ある。
- ・ボランティアを地域にお願いするとなると、なかなか活動が難しい地区も多く、地区の負担が増えるだけとなるのは避けるべき。
- ・地域振興協議会や自治会でボランティアを行うとなると、その中でボランティアを行う人を探さないといけないので、できる地区とできない地区が出てくると思う。地域を超えてできる仕組み、市全体で取り組んでいる仕組みを勉強できればよいと思う。
- ・声を拾うのは地域、支援を行うのは市全体で共通するような仕組みなど柔軟な対応ができる
とよいと思った。
- ・市がどういった取組を行うのが良いのか、自治会や振興協議会の役割など幅広い取組が必要
となる。行政がどう関わってニーズを解決しているか学んでいきたい。
- ・白杵のボランティア制度などについて把握できていない部分がある。市の制度や実態につい
て事前に聞きたい。

（協議結果）

○視察先について

- ・九州管内でゴミ出し支援、有償ボランティアについて先進自治体への視察を検討する。
（主体：行政、自治会、有償ボランティア）
ゴミ出し支援を優先に、フリースクール支援等を行っている自治体の視察も検討する。

○日程について

- ・10月27日（火）～29日（木）で調整する。

○事前勉強会について

- ・視察内容について、市の制度や取組の現状と課題について勉強することとする。
- ・9月18日（金）の開催で執行部（環境課、福祉課、高齢者支援課）と調整をする。

午前11時02分 閉会

臼杵市議会委員会条例第30条第1項の規定により、ここに記録を作成する。

令和8年7月16日

臼杵市議会

教育民生委員会委員長 安東鉄男